

キッズサポート つばさ
児童発達支援管理責任者

PICK UP

THE PERSON

木村 壮貴

KEY WORD

挑戦

— chousen —



『キッズサポートつばさ』を運営する木村氏は、
大学時代、放課後等デイサービスの子どもたちと出会ったことで、
決まっていた内定を辞退し、福祉の道に進むことを決断した。
「当時は何の経験もありませんでしたが、
自分には無理だと思ってやらなかったら、ずっとゼロのまま。
何事もやってみなければ分からない——そう思ったのです」。
そんな木村氏は今、様々な障がいを抱える子どもたちと接する中で、
「まずはやるのが大事」と、挑戦することの大切さを伝えている。

「何事もやってみないとわからない。
諦める前に、まずは挑戦することです」



特定非営利活動法人 チームつばさ
放課後等デイサービス
キッズサポート つばさ
愛知県額田郡幸田町大字菱池字奉行 74-2

子ども目線を大切に、地域に根差した放課後等デイサービス

障がいや発達に不安のある子どもたちが通う放課後等デイサービス『キッズサポートつばさ』は、2017年1月にスタートした事業所。「未来という無限の可能性を秘めた空に向かい、逆風にも負けない優しくなやかな『つばさ』を育む場所」を目指している。本日は黒田アーサー氏が、同所を取り仕切る木村壮貴氏にお話を伺った。



愛知県蒲郡市出身。学業修了後、地元の放課後等デイサービスに勤務。その傍ら、2015年にNPO法人『チームつばさ』を設立する。勤めを続けながら開業準備を進め、2017年1月に『キッズサポートつばさ』をオープン。

児童発達支援管理責任者

木村 壮貴

対談

黒田アーサー
タレント

保護者ではなく
子どもの目線で考える

「独立を考えるようになったのはいつごろでしたか。」

3〜4年前でしたね。ここ幸田町には、放課後等デイサービスを運営するために母体となるNPO法人はありませんでした。そこで、営利を目的としない、地域に根差した法人を作りたいと考えたのです。そこから色々調べたり準備をしたりして、2015年、勤めの傍らNPO法人だけに立ち上げました。そして2017年1月からは本格的にデイサービスをスタート。今、ちょうど1年が過ぎたところです。この1年を振り返ってみて、いかがですか。

あつという間でしたね。やりたいことが多すぎて、とても時間が足りない毎日です。休みの日には趣味の釣りに出かけたりするのですが、そういう時も、気がつけばデイサービスの子どものことばかり考えています(笑)。釣り場には家族連れも多くて、子どもたちが楽しそうに釣りをしている様子

子どもたちに役立ちたいとの想いで
福祉業界へと方向を転換

はじめに木村さんが福祉のお仕事に就かれた経緯からお聞かせ下さい。

企業の内定をいただくことができた後の大学4年生の夏休みに、障がいのある子どもたちと遊んだりスポーツを楽しんだりするために、地元・蒲郡市にある放課後等デイサービスに行つたんですね。そこでハンディを抱えながらも力強く、楽しそうに生活する子どもたちを見て心打たれました。それで、この仕事に携わってみたい、自分も何らかの形で彼らの役に立ちたいと思い、福祉の道に進んだんですよ。

心底手掛けたいと思えるお仕事に出会われた訳だ。しかし、突然の転換に、「家族は心配されたのではないですか。」

決まっていた内定を辞退しての決断でしたから、やはり心配されましたし、反対されましたね。ただ、強い気持ちを持って決めたことだし、自分の判断を信じて突き進んでみようと思えました。未経験からのチャレンジでしたが、素人だからやっばいいけないということはない。むしろ、素人だから気づけることもあるはずだ、と考えたのです。

見ている、デイサービスでこういうイベントがあったらどうか、とか、もし親御さんが遊びに連れて行きたい状況だったら、デイサービスで企画すると、子どもたちが喜んでくれるんじゃないかな、とか……。とても熱心に取り組まれていますね！それに、子どもたちをとてども大事にされていることが窺えます。

デイサービスというと、保護者の負担を軽減するための施設だと思われがちですが、やはり一番大事なのは実際に利用する子どもたちですからね。そして皆に満足してもらえらるためには、「子どもの目線に立つこと」が大切だと思っっているのです。

お話も尽きませんが、最後に将来の展望をお聞かせ下さい。
まずはデイサービスの子どもたちが卒業してから、それぞれの適性を活かした仕事ができるように、就労支援の事業所を立ち上げたいと思っています。既にこの地域にもありますが、まだまだ数が足りていませんから。子どもたちの将来への不安を解消するためにも、2〜3カ所以上はつくりたいですね。

check Point

子供たちのことばかり考えることの充実感

▼「放課後等デイサービス」は、障がいのある就学児向けの学童保育のようなサービスだ。授業のある日は放課後、夏休みや冬休みなど学校が休みの期間は朝から過ごすことができ、療育機能と居場所機能を兼ね備えたサービスとして少しずつその数を増やしている。

▼加えて『キッズサポートつばさ』では、「小さな成功体験」を積み重ねられるよう、子どもたちにチャレンジの機会を用意している。そしてできることを増やしたり、友達と協力すること、ルールを守ること、人の役に立つ喜びなどを丁寧に伝えたりしているのだ。

▼「子どもたちの成功体験のための方法は常に考えている」と木村氏。たとえば買い物をする時にも、子どもたちが買い物をする練習をしてみても、と思いつき、「ならばまず必要なのは財布。マジックテープの財布やがま口の財布など、数種類揃えて練習しよう」というように、次々具体的になっていくそうだ。そういったことを目を輝かせて話してくれた木村氏は、頭の中が子どもたちのことで占められていることを、心から楽しんでいるように見えた。



黒田アーサー (タレント)

guest comment

「職員の方々に木村さんがどんな方なのか伺ったところ、『子どもたちから慕われ、職員や保護者からは信頼され、絶大な人気を誇る人』とのことでした。お話をさせていただく中でも誠実なお人柄が伝わってきましたし、子どもたちへの思い、このお仕事への熱意には並々ならぬものを感じましたね。今後のさらなるご活躍を楽しみにしていますよ！」